

森脇成典 (メモ)

黒田和明 (監修)

日時：2009年4月6日13:30-14:30

場所：東大宇宙線研究所大セミナー室+TV会議(天文台、京都大、KEK、東大理)+Skype

参加：(敬称略)中谷、大橋、三代木、宮川、石塚、我妻、齋藤陽、高橋、寺田、三尾、森脇、大前、黒田(宇宙線研会議室)、川村、辰巳、新井、佐藤修一、阪田(天文台会議室)、坪野、高橋(走)、穀山、岡田(M2)、松本(M1)(東大理会議室)、鈴木(KEK会議室)、中村、安東(京大研究室)、神田(阪市立大研究室)、内山(CLIOサイト)、麻生(Caltech)

o 概算要求申請近況(黒田)

- LCGT 計画のパンフレットの新版を作成中.
- 10-20 ページの説明書類を作成中.
- LCGT 三者協議会を作る. 来週 16 日に会合予定.
ICRR, NAOJ, KEK の長と, 重力波研究の代表者が参加.
追加の議事があれば黒田まで.

o 真空系報告(高橋)

現地溶接作業を必要としない 12m フランジ付きダクトでコストを含め仕様を詰めている.
(ϕ 1000 フランジ, 外直径 1080)
運搬方法, アラインメント, リークテストを含めて検討中.
現場でのベーキングはやらない(工場でのベーキングはあり). 材質 Ti は今は考えていない.

o 3ヶ月 study の報告(三代木)

LCGT に向けた TAMA と CLIO での研究開発項目について、昨年 12 月から、現場スタッフにより検討。まとめた文章は Wiki 参照。

LCGT のみが必要とする低温・サファイヤ鏡・SPI の 3 つが最優先。これを踏まえた上で、

- CLIO は低温で感度を出す
- TAMA は SPI, SAS, サファイヤ懸架, 熱レンズ補償, RSE, ...
- Cryo-SAS のプロトタイプを CLIO, TAMA 以外で作る

[中谷コメント: 来週の三者会議で, マンパワーは確保できていないが, 要望として出せるのではないか]

[辰巳コメント: マネジメント側への要求として, LCGT 組織の中での TAMA, CLIO の位置づけを明確にして欲しい]

○ 組織表について (黒田)

Wiki に新組織表を置いた.

PM と作業班 (タスクリーダー) との間にコーディネータを新設.

タスクリーダーは, タスクのまとめの責任と権限をもつ.

[中谷コメント: コーディネータはタスク間のコミュニケーションをとる役割を持ち, セクショナリズムを防止し, 見落としタスクをなくす]

[大橋コメント: 現時点で一部タスクに人的リソースの空白があるが, コーディネータはこれを埋める責任を負う.]

○ 神岡入坑について (大橋)

今年度入坑する予定の研究者は, 年度初めに ICRR の Web で研究者登録の更新をする必要がある. 大橋まで連絡のこと. 入坑前に安全教育を受ける必要あり. 我々のグループ内では, 内山氏が教育係として認定されており彼の講習を受ければ OK.

安全マニュアルも入手可能. 9月等でも研究者登録は可能だが, 年度初めの4月に済ませるのが望ましい.

○ LCGT のデジタル制御 (宮川)

LIGO から CLIO 用のデジタル制御系を調達した経緯から外挿して見積もると, 約 \$180k (約 2000 万円). 内訳は Wiki 文章参照.

たたき台として欲しい. ソフトウェアは市販のものではなく LIGO グループの開発品. 汎用.

○ 次回 4月 20日 13:30 より